

LGBTQテーマ漫画作品

『カノジョになりたい君と僕』 執筆の現場から

文：漫画家 たかせうみ
編集・文責：GANMA!編集部
担当編集 長谷川あずさ

<中高生のみなさま、保護者のみなさま、先生方へご挨拶>

この度は、本作品に貴重な機会を賜りましたこと、深く御礼申し上げます。

本作品は本WEB/アプリ誌（GANMA!）にて2018年から2020年まで約2年に渡り連載、のちにアースター・エンターテインメントより出版されたLGBTQをテーマにした漫画作品です。

「LGBTQ」をテーマに貴学にて講義実施に伴い、特別講師である平沢氏のご依頼により弊社掲載作『カノジョになりたい君と僕』を教材に取り入れたいという貴重なお申し出があり、折にご執筆された漫画家・たかせうみ先生へのご質問をお預かりしました。

つきましては、回答内容を以下にご紹介させていただきます。

本作がLGBTQをはじめとしたセクシャルマイノリティについての見識を広める一助となりますこと、また今まさにアイデンティティに悩む方々の助けになりましたら幸いです。

①作品のあらすじ

体は男性・心は女性として生まれたアキラは、高校入学を機に「女の子として」生きていくことを決意、セーラー服に身を包み登校する。アキラを待ち受けていたのは、クラスメイトの奇異の目、教師の無理解な発言…

そんなアキラに対し、幼い頃から恋心を抱いていた幼馴染のヒメ。大切な幼馴染を支えるため、ヒメが手にしたのは、アキラの父親が用意していた「学ラン」だった――!



②LGBTQ性的マイノリティを

題材とした作品を漫画化しようという思いに至った経緯

私自身、自分がどのカテゴリに入るのかずっと悩んできました。だけど次第に「そのカテゴリに自分を合わせなければ」と無意識に思い始めていることに気がつきました。

「自分らしく生きるということは、何かの型にはまろうとすることではない。」

たくさん悩んだ末に、私はそう思いました。

同じように自分とは何かと悩む人に勇気を与えられればと思い「カノジョになりたい君と僕」を描きました。

③性に関するアイデンティティを

まさに追求中の生徒さんたちにぜひとも届けたいメッセージ

自分がいったいどういう人間であるのか知ろうとする中で、レズビアンだとかアセクシャルだとか、いろんな「自分を表す言葉」に出会うと思います。

けれど言葉に縛られないでください。

「自分は〇〇だからこれを好きじゃダメ」とか「あの子は〇〇なのにこうしないなんて変」なんて、自分や誰かを否定しないでください。

人を表す言葉はひとを制限するものではないからです。

言葉で表せないほどいろんな生き方や個性があり、誰かや何かと出会うたび、知らなかった自分を発見する…それはとても戸惑うことだと思います。

でも同時に、とても素敵なことだとも私は思うのです。

④先生方や保護者の方々へ届けたいメッセージ

保護者の方々や先生方が、もし自分のお子さんや生徒さんにLGBTQをはじめセクシャルマイノリティなのだとか打ち明けられたら、きっと最初は戸惑うのではないかと思います。

周りの子と違うなんて将来大丈夫なんだろうかと不安にもなるかもしれません。でも、周りと違うことを1番恐れて不安なのは、実はその子自身かもしれません。

だからそんな時、保護者や先生方が「あなたはあなたのままであることが素敵だよ」と伝えてあげることができたら、とても心強い支えになると思います。

お子さんの悩みを解決してあげたくて、もどかしくなるかもしれません。

生徒さんのことをなかなか理解できなくて、焦りを感じるかもしれません。

しかし、まずは「ひとりで考えなくていいんだよ」と伝えてあげることが大切です。